

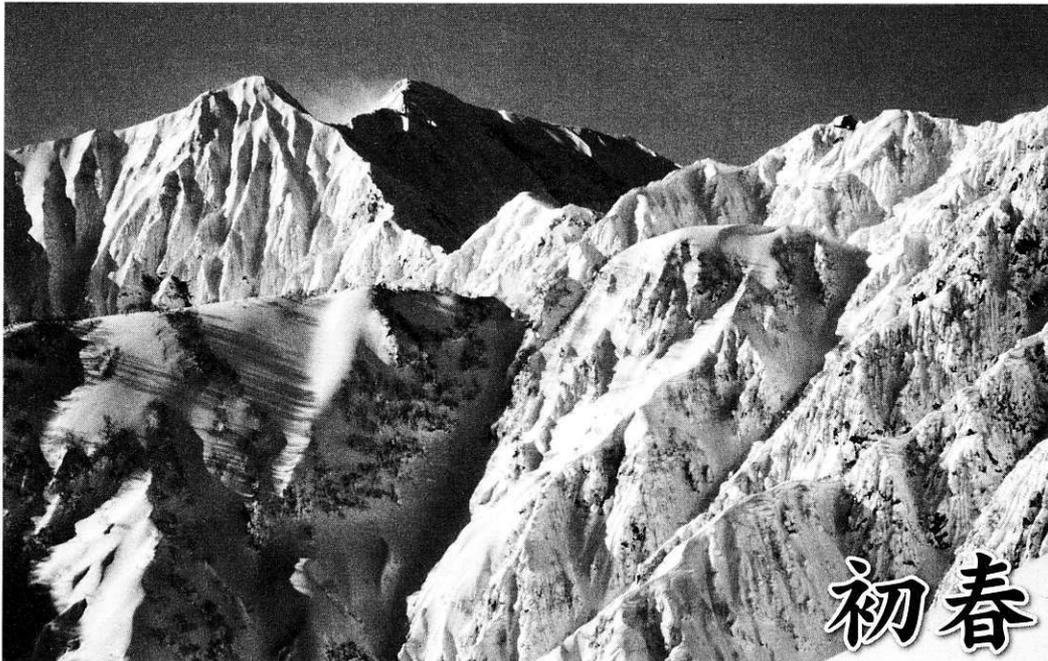
発行所 愛知県山岳連盟  
 発行人 伊藤 智彦  
 編集人 中平等 新一  
 名古屋市天白区中平3-1902  
 TEL&FAX 052-802-8062

◆ 2月26日～27日 雪山研修会・講習会 (大日ヶ岳)

<http://aichi-sangaku.main.jp/>

厳冬の  
後立山連峰

PHOTO 中平等新一



初春

年頭にあたって

会長 伊藤 智彦



あらたまの  
年立ちかへるあしたより  
待たるるものは鶯の声  
素性

加盟団体の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年はコロナ禍での一年に終始しました。メディアの感染情報に一喜一憂する日々が続きました。そのような中で、東京オリンピック・パラリンピックが実施されました。

特にスポーツクライミングをはじめ各種競技の観戦では映像を通してですが、気持ちが高揚した方も多くいらつしやったのではないかと思います。コロナ禍に負けないようにと、元気づけられました。その後予定された三重国体を始め、昨年、多くの大会がコロナ感染のために中止されたことは、やむを得ないことと思っておりますが、出場予定の選手や準備に奔走されたスタッフ

の皆さんの気持ちを察すると残念でありました。今後の大会に期待したいと思えます。年があらたまり、2022年は、社会が新型コロナウイルスの影響の中にあっても少しずつ本来の社会活動に向けて、回復の歩を加速させる年であることを心より願うものです。

愛知県山岳連盟は加盟会員の皆さんが山岳活動に安全に臨んでいただけるように、常に努めていくことは当然であります。また愛知県民としての責任、さらに競技団体としての責任を支援する社会的責任も負っています。

今後2026年には名古屋でアジア大会も予定されています。それらを考えますと、法人化し、さらなる社会における地位の確立が必要と考えます。

愛知県山岳連盟は、日本で最初に組織された県の山岳組織と聞いております。その伝統と誇りを胸に、一層の組織の強化・活動内容の充実等々について、課題を検討し、事業を実践していきたいと思っております。

コロナ禍による閉塞感の強い社会ではありますが、やれることは数多くあるはずですので、元気を取り戻す一年にしましょう。

# 秋の安全登山と自然保護啓発活動

常任理事  
(指導委員) 高木 宏

11月6日、三重岳連が主催する安全登山の啓発活動に参加しました。愛知岳連からの参加者は、中川遭難対策委員長はじめ4名でした。

活動時間は7時から10時迄でしたが、紅葉時期なので私達が中道駐車場に6時に着いた時には、駐車スペースは数台を残して満車状態でした。

その後には到着したグループで路肩は駐車車両でいっぱいになり、路上を歩く登山者が危険な状況でした。

活動内容は、安全登山のパンフレットの配布と登山届の提出確認をして、未提出のグループには用紙に記入してもらい、装備の(雨具、食料、飲料、地図、ヘッドランプ等)確認を行いました。

当日は快晴になったので登山者は連なつて受付に集まり、登山届を記載してもらおうのも大変な状況でした。

活動の参加で感じたことは、登山届を事前に作成してくるグループは殆んどなく、登山

口での用紙記載時にルートを考えるグループが多かったことでした。装備では食料、飲料は持っているが雨具、地図、ヘッドランプを持参しているグループは非常に少なかった印象です。

登山届を事前に作成して、必要な装備を持参するグループが増えるまで、この活動を続ける必要を強く感じました。



安全登山を呼びかける。

## 第10回鈴鹿山系連絡協議会

### コロナ禍で低山の事故急増!

理事長 北村 憲彦

第10回鈴鹿山系連絡協議会が、昨年11月16日に三重県菟野町農村環境改善センターにて開催された。出席者は滋賀県4人、大阪1人、奈良県1人、岐阜県3人、三重県8人(うち1人は行政から)および愛知県からは2人の理事(遭難対策委員会の中川氏、自然保護委員会の栗木氏)が出席した。

議題としては1. 鈴鹿山系における各府県連盟の活動報告、2. その他の議題や提案であり、本協議会が鈴鹿山系に関する遭難状況や遭難対策、自然保護に関する2テーマで意見交換をするために、三重県・滋賀県をはじめとする近畿各県と鈴鹿に隣接する岐阜県、愛知県から毎年秋に集まってくる。

1. 鈴鹿山系における各府県山岳・スポーツクライミング連盟(または山岳連盟)の活動報告  
〔滋賀県〕昨年11月6日の啓発活動に18人参加し、150人弱の登山者に啓発グッズなどを配布、滋賀県内(比良山系と鈴鹿山系)で

79件事故、鈴鹿山系では31人の遭難者(愛知7、三重7、滋賀7、岐阜5、京都4、大阪1)であり、死亡者・行方不明4人(霊山で滝壺に滑落を含む)、負傷者14人、無事救助13人(半数以上は道迷い)であった。各種パンフレットの配布は道の駅、観光協会、観光課で行政の予算で行っている。

(自然保護)自然観察会について、令和2年度は新型コロナウイルスや天気の影響で、実施回数減。今年度、5月の霊仙山では、鹿害の被害状況を確認した。

(三重県)令和2年度山岳遭難発生状況66件、遭難者数79人(三重37人、愛知23人、その他19人)、死者5人、行方不明2人、負傷者36人であり、態様別では道迷い33人(41.8%)、滑落・転落27人(34.2%)、転倒10人(12.7%)が多かった。これら79件中、鈴鹿山系では48件(全体の72.7%)を占めている。これに対して、三重県山岳・スポーツクライミング連盟で

は、遭難対策として行政と合同で三重県下の登山ポスト調査プロジェクトを実施し、県下主要登山道のポスト設置状況、実態の調査し、市町への報告改善を要望した。近々、Webで一般公開の予定。

自然保護としては、自然保護月間を決めて、各所属団体への清掃登山実施を依頼し、12月に委員会主催で、清掃と自然観察登山を実施予定している。

他府県からは特に鈴鹿山系における報告事項はなかった。

#### 2. その他の議題や提案

以下のような鈴鹿山系を含む登山情報や課題などが議論され、活発に意見交換された。これらについての審議・決議事項はなかった。以下は意見(順不同)である。

① 狭い駐車場を早いもの勝ちでの使用になるため、登山者の入山時間が早くなっている。安全登山の観点からは良いが、駐車場が少ないうちはアクセス問題などが心配される。

② 令和元年の遭難件数は、統計を取り始めてから最多件数・人数となった。新型コロナウイルスの影響で長野、岐阜などの高い山岳での宿泊を伴う登山が行いにくいこともあり、近くて日帰りでき

③ 鈴鹿などの低山に登山人流が増えたと推測される。トレイルランニングなども増えており、たとえば24時間以内にとれだけ移動できるかをこだわって、夜中の行動をしている方が鈴鹿や比良山系でも見られる。今年10月に「レイクビワ100」のレースが朝明溪谷9時スタートで鈴鹿山系の中南部を縦走した後、翌日に比良レークハウスを指す大会も開催されている。以前に令和元年6月、藤原岳付近でトレイルランニング中に滑落し、死亡した事案も起きている。これらのトレイルランニングは、軽装備であることが多く、リスタクが高いことが十分に認識されていないことが心配される。

④ 登山口近くの養豚場では、現在でも豚コレラが散发的に発生しているため、油断できない状況である。携帯トイレの利用が伊吹山で試されているが、処理問題のために十分には普及していない。今後、どのようにして普及していけばよいか検討が必要。

⑤ 自然保護啓発についても、各県で一般登山者に対しての自然保護に関する啓発活動はどのようにしているか意見交換された。JM

⑥ SCAの自然保護委員総会が今年度もオンラインとなり、情報交換の場として活用が期待される。山岳会の高齢化、意識の問題もあり、自然保護委員で、今後に取り組むべき問題についての啓発の学習や講習会を地方でも開催していくことが望ましい。

⑦ 登山届提出促進については、登山届や計画なしで入山する人がいて問題である。山岳団体だけでなく、行政、消防・警察への情報発信が必要である。

⑧ 登山道整備について検討されているが、地権者や環境省など横断的な問題で、自然公園法もあり、容易ではない。自然保護の観点から「近自然工法」(生態系の復元を意図し、従来から山に存在するものを利用する方法)も検討されている。

⑨ SNSによる好ましくない発信の状況として、希少植物の情報、禁止箇所での幕営の様子を安易に発信する例もみられる。この情報を知って入山し、環境変化の一因になっていると思われる事案もある。

3. 次回の予定  
来年度の第11回鈴鹿山系連絡協議会は、令和4年11月5日に東近江市・道の駅「奥永源寺溪流の里」が予定された。

印象に残った私の登山 32

厳冬の戸隠・本院岳  
ダイレクト尾根で  
雪崩に遭遇

副理事長  
岩瀬 幹生

1980年の厳冬期、戸隠本院岳のダイレクト尾根での出来事だった。

山に入ってから、すでに5日目。昨日から大荒れの天気

に変わった。視界が利かなくなり、ルート取りも難しくな

ってきた。また、一晩で1m以上の積雪があり、夜の無線

交信では「これから天気が回復する見込みは少ない」とい

う連絡が入る。食料も、もうすぐ底をつきそうだ。「ちょ

っと、やばいな。明日撤退しよう」

翌日から撤退が始まった。1本のロープを3人で結びあ

つて、コンテで少し急な雪面を横切っている時だった。鈍

い地鳴りと共に、大地が揺れ動いた。その瞬間、雪煙が舞

い上がり、私たちは雪崩に飲み込まれてしまった。身体は雪面にたたきつけられ、もみ

くちやにされた。なにが何だかわからなかったけれど、もがき続けていたら、自分は上半身が運良く雪の上にポツネンと出ることができた。周りを見渡すが、パートナー2人の姿やザックなどは見当たらず、しばし呆然としてしま

う。「雪崩をくらっちゃった...」「Kくん、Oさん、大丈夫か!」大声で何度も叫んでみるが、返事はない。

いつか経ち、少し冷静になってきたので、埋まっている自分の下半身をゴソゴソ掘り出していたら、私たちはお互いにロープで結び合っ

ていることに、はっと気がついた。急いでロープをたぐり寄せ、雪にズッポリ埋まったK

くん、Oさんを掘り出し、助けあげることができた。

2人とも無傷だった事に、ホッと胸をなで下ろした。

「俺たちは、助かったんだ!」山で九死に一生を得た、若き頃のほろ苦い体験でした。

(蒲郡山の会・代表)

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい(帰化)、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号  
(地下鉄・久屋大通駅から2分の) 丸の内東桜ビル1004号室

TEL: 090-4857-9130  
URL: http://www.nygs-office.com/

安心して選べる三河地区のプロショップ  
JR刈谷駅前  
穂高  
〒448-0825 刈谷市神明町6-408  
TEL 0566 (23) 8611  
定休日/火曜日  
営業時間/10:00~20:00

登山用品豊富!



インドヒマラヤ未踏峰へチャレンジ!

日本山岳会東海支部 星 一男



インドヒマラヤの未踏峰 (6,060m)

私のこの10年間は、日本山岳会東海支部が掲げる中高年・海外遠征を第一目標として活動をしてきました。2010年にインドヒマラヤの6000m級の未踏峰登山計画を先達の鈴木常夫先輩から引き継ぎ、2011年の8月には、第11次インドヒマラヤ隊5人全員が頂上を踏みました。この頃は、全国の各山岳会でも多くの昔取った杵柄組の登山隊がインドの山を目指しましたが成功の確率はなぜか低く、隊のマネジメントを

進めるうちに、我が東海支部の海外登山経験に基づくノウハウの実践により、成功につながることを学びました。先達から引き継がれる伝統の力が、安全登山の継続になっていると思います。登山を行う第一歩は地図を見ることです。未知の山を探るためにはGoogle Mapを見るのが出来る現在でも、未だインドは山岳地図を公開していません。中国やパキスタンとの戦争を行なっているためです。幸いなことに、沖 允人先輩(JAC、中京山岳会)をはじめ諸先輩が長年苦労して入手した未公開地図や、西欧・ロシアの地図をもとに偵察山行と称して前年に現地調査を行い、次年度に本登山を行うといったスタイルを継続してきました。私が初めて参加した第11次登山隊は、登頂した山の名前をChemma(チェムマ)、2014年の第12次の山はPyagski(ジャクシー峰)、2018年の第13次の山はTashi Rang(タシ・ラン峰)と現地の言葉で命名しました。

令和3年度 冬山入山状況

2021.12.14現在

▲北アルプス方面

Table with 6 columns: (No.), (所属団体名), (登山期間), (登山ルート), (リーダー), (人数). Rows include Team Cataya, Toyohashi Mountain Club, and GSA.

▲南アルプス方面

Table with 6 columns: (No.), (所属団体名), (登山期間), (登山ルート), (リーダー), (人数). Rows include Toyama Mountain Club, Denso Mountain Club, Okazaki Mountain Club, and Nagaoka Mountain Club.

▲八ヶ岳方面

Table with 6 columns: (No.), (所属団体名), (登山期間), (登山ルート), (リーダー), (人数). Rows include JAC East Sea Branch, Toyota Automatic Mountain Club, Yamabiko Mountain Club, and Toyohashi Mountain Club.

▲その他方面

Table with 6 columns: (No.), (所属団体名), (登山期間), (登山ルート), (リーダー), (人数). Rows include Toyohashi Mountain Club.

◎注意事項

- 1. 計画書は必ず、家族・緊急連絡先へ提出する。2. 入山までメンバーの体調管理には十分気をつける。3. 予備日と非常食は必ず準備する。4. 現状メンバーの技術に沿った計画とする。5. 各隊の救助体制を決めておく。6. 山行中は、自分の現在地を見失わない。7. 雪崩・雪庇踏み抜き滑落には、十分に注意する。8. 悪天候でヘリが飛ばない日が続くことが有るので認識の決断を早めに対応する。9. 所屬山岳会への連絡(警察への救助要請確認) 10. 岳連への報告・救助依頼→遭難事故報告書。

山の名称は現地の地図上に更新されています。全員登頂を果たすことが出来たのは、隊員諸氏の努力の結果でもあります。感謝に堪えません。

遠征の目的は登山だけでなく、環境・地質・植物・気候などの自然観察を行う学術隊も参加しています。特に地球環境の変化と気温上昇により、氷河の衰退状況がよくわかります。氷河が融けて流れる量が増し氾濫し、キャラバ

### 伊吹山で雪崩 4人が巻き込まれる

1月4日午後0時45分頃、伊吹山(1377m)の表登山道六合目付近で雪崩が発生、登山中の男性4人が巻き込まれ、1人が負傷し病院に搬送された。

雪崩は六合目の先で幅50m長さ100mほどの規模で、4人のうち3人は自力で脱出、倒れていた男性を救助した。当時、吹雪で視界が悪く、「ホワイトアウト」の中で表層雪崩が起き25mほど流された。

五合目付近は、150cmの積雪があり、この日は彦根地方気象台から雪崩注意報が出されていた。

ン中に何度か徒渉をしますが、回を追うごとに危険度は増してきて苦労しました。現地では、永年登山行動を共にするインドの友人との交流も登山を続ける原動力です。コロナ禍ではありませんが、今年も14次遠征隊が出せればと願っています。

今回も愛知岳連の後援をお願いするつもりです。よろしくお願いします。

### 常任理事会

▼12月7日(火) Web会議  
 (出席者)安藤顧問、伊藤会長、星副会長、北村理事長、岩瀬副理事長、木田、高木、中川、栗木、佐橋、小島、谷澤、倉、木田(陽)、楢山、多田、宮森、今泉各常任理事

- ・会長あいさつ
- I 報告事項
  1. 全国選抜SC選手権大会予選会(11/3浜松スクエア)倉、佐橋
  2. 高体連・新人大会(11/6〜7釈迦ヶ岳)小島、佐橋
  3. 秋の安全登山啓発活動・三重県への協力(11/6鈴鹿山系)中川
  4. 鈴鹿山系連絡協議会(11/6菰野)中川、栗木
  5. 日山協・自然保護委員総

- 会(11/13〜14延期)栗木
- 6. 環境省自然公園指導員候補者の推薦(11/22)栗木
- 7. 安全登山指導者研修会(11/20〜22佐賀県)北村
- 8. 第25回遭難を考える会(11/26Web)中川、北村
- 9. 高等学校登山指導者オンラインセミナー(12/5)北村
- 10. 法人化準備委員会第7回
- 11/1、第8回11/15、第9回11/29(北村、今泉)
- 11. その他
- II 審議・お知らせ事項
  1. 第7回ボルダリングユース日本選手権(12/18〜19鳥取県)倉、佐橋
  2. 安全登山サテライトセミナー(12/18〜19東京)北村
  3. 冬山遭難対策会議(12/14Web)中川、有富
  4. 第11回全国高等学校選抜SC選手権大会(12/25〜26加須)倉、佐橋
  5. 指導員総会(1/13Web)又は刈谷アイリスホール)木田、高木
  6. 日山協・競技委員会東海ブロック(1/15〜16岐阜)佐橋、倉
  7. 高体連第2回登山部委員会(1/18県教育会館)佐橋、小島
  8. 第17回ボルダリングジャパンカップ(2/5〜6三重県)倉、佐橋
  9. 第3回登山勉強会(2/8、2/15)木田、高木
  10. 登山普及情報交換会(2/12東京)
  11. 第35回リードジャパンカ



- 12. 自然保護委員総会(2/15Web又は名工大)栗木
- 13. 雪山研修会・講習会(2/26〜27大日ヶ岳)木田、高木
- 14. 愛知山岳マラソン2022(3/5猿投山)岩瀬

■明けまして おめでとございます。  
 昨年からのコロナ禍で、種々の行事が中止になり、登山活動もままならず、虚しい気持ちが続いています。

■山は比較的密が避けられる場所との認識があり、計画をするものの山小屋やテント場の規制もあって、やっぱり減入ってしまう！

■「愛知岳連ニュース」で、JAC東海が今年海外登山の計画を考慮中とのこと、実施されたら、みんなで応援しよう。

■本年もよろしく お願い致します

～ アジア最大のスポーツの祭典 ～

## 第20回 アジア競技大会

(2026/愛知・名古屋)

日時 2026.9.19(土)～10.4(日)  
 会場 瑞穂公園陸上競技場 他  
 主催 アジア・オリンピック評議会

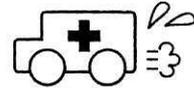
うなぎ錦三丁目 い ば しょう



〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号  
 TEL <052> 951-1166 番  
 営業時間 午前 11:00～午後 2:30  
 午後 4:00～午後 8:00  
 定休日 日曜日・第二・第三月曜日

# 救助要請の方法

万が一の事故！  
仲間で処理できないときは？！



## 1. 状況確認

- ① 応急手当
- ② 遭難者の人数と容体・事故発生時間・場所・天候など、現在の状況。
- ③ 遭難者の氏名・生年月日・連絡先などの個人情報。  
※救助要請を代行する方は、必ずメモをとってください。

## 2. 警察へ通報

- ① 携帯電話等、使用できれば直接110番。もしくは最寄りの山小屋から警察へ通報。
- ② 救助隊との合流場所、連絡方法などの確認。  
※必ず「ハケ岳の〇〇へ救助要請」と通報してください。  
※救助要請代行者は必ずメモを持参してください。  
※警察通報後でなければ、救助活動に移れません。

## 3. 救助活動

※早急な救助活動には、山小屋従業員を含む民間の救助隊や、ヘリコプターの協力が必要となります。その際にかかる費用は遭難者の負担となります。

※一般登山者の救助協力は、個人の安全を優先してください。

※ご不明な点は、  
長野県諏訪地区山岳遭難防止対策協会事務局 茅野市役所商業観光課 TEL.0266-72-2101  
または茅野警察署地域課 TEL.0266-82-0110 までご連絡ください。  
※山岳保険への加入をおすすめします。

危険

## いつも行っている山でも…

# 注意が必要です

×

### 遭難に結び付きやすい例

- 誰にも行き先を告げず、一人で入山する。  
遭難しても捜せない。  
緊急時、救助を要請できず、死に繋がる恐れもある。
- 道に迷って動き回る、沢を下る。  
焦って行動して斜面で滑落したり、  
崖や滝の上に出て転落する。
- ヘッドランプや防寒着、食料など  
非常装備を持たないで入山する。  
秋冬は日が短く、暗くなると身動きが出来ない。  
朝晩は気温が低く、防寒着や食料がないと体温が低下して、  
死に繋がる恐れがある。

○

### 楽しんで帰ってくる例

- 家族に行き先を告げる。複数名で入山する。  
遭難した場合、行き先を手掛かりに捜索できる。  
緊急時、仲間が救助を要請できる。
- 携帯電話を持って入山する。道に迷ったら  
来た道に戻る。  
道が分からない場合は、携帯電話の通じる見晴らしの良い所で  
救助を要請する。
- ヘッドランプや防寒着、非常装備を持って  
入山する。  
遭難してもツェルトや防寒着、食料があれば体温低下を防ぐことが  
出来る。

★遭難事故の半数以上は道迷いです。登山計画書を必ず提出しましょう！